

上古川石畳道路

(上古川)

上古川集落の中央あたり、幹線から谷本坂へ向う約200メートルに石畳が敷かれている。

「石畳は、昭和6年、谷本岩吉が私財を投じて敷設したものです。当時、小作米を地主宅へ搬送する際、この道が軟弱で、大八車だいはちぐるまの運行に苦勞した。谷本岩吉は、道巾を二尺（約66センチ）広げるとともに、石畳道路にした。」（娘 谷本春野談）

石畳は、幅40センチ、長さ120センチで三列に並ぶ。昭和48年（1973）上

古川自治公民館が当該道路の舗装を市当局へ申請した際、この道路は貴重な史跡であり、そのままの状態そんちで存置することになり、現在に至っている。

（出典：『おがも谷上古川史』上古川自治公民館）

